



農民魂を 受け継ぐ

綴子農協青年部(米沢治美部長)による雪中田植えが1月15日行われ、今年の豊作を祈願しました。この行事は地域の篤農家、故高橋佐一郎翁が復活させたものです。昨年から部員が遺志を受け継ぎ、稲に見たてたワラと豆ガラを16株植え、病害虫よけのワラを束ねた棒ではき清め「豊作でありますように」と願いを込めていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

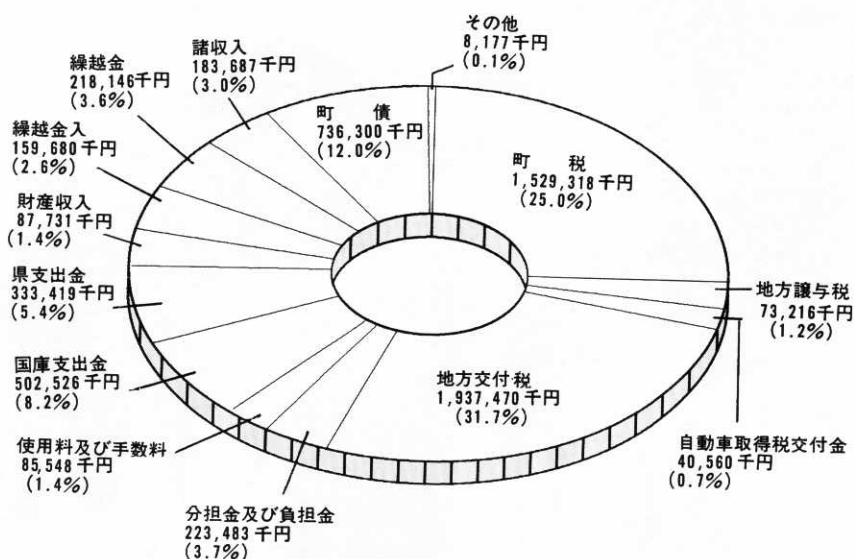
12月31日現在	(前月比)
総人口 24,734人	(4人減)
出生 15人	転入 50人
死亡 30人	転出 39人
男 12,017人	(7人減)
女 12,717人	(3人増)
世帯数 7,305世帯	(11世帯増)

昭和61年度決算報告

収支は各会計とも健全

一般会計 1億9932万7千円 繰越し

一般会計歳入 61億1926万1千円



昭和六十一年度一般会計及び特別会計の決算は、九月定例町議会で決算特別委員会に付託。同委員会慎重審議を重ねていましたが、いずれの会計も原案どおり認定となりました。一般会計や各種特別会計は、みなさんから納付いただいた町税や地方交付税、国、県の支出金でまかなわれていますが、いずれも黒字でムダのないよう効率的に執行されています。会計のあらましは次のとおりです。

昭和61年度 町税徴収状況及び負担状況

＝負担状況＝

＝徴収状況＝

(単位 千円)



1人当り

町民税 26,825円

固定資産税 27,517円

1世帯
当たり

町民税 91,055円

固定資産税 93,403円

たばこ消費税

1人当り

4,296円



人口 24,650人

世帯 7,262世帯

(昭和62年3月31日現在)

区分	予算額	調定額	収入済額	収入率
町民税	651,703	669,088	661,243	98.8
固定資産税	648,371	710,951	678,294	95.4
軽自動車税	17,070	17,241	17,149	99.5
たばこ消費税	105,800	105,898	105,898	100.0
電気税	63,028	63,060	63,060	100.0
木材引取税	1,561	3,674	3,674	100.0
計	1,487,533	1,569,912	1,529,318	97.4

町費の使いみちは

一般会計歳出 59億1993万4千円

1人当たり 240,160円

1世帯当たり 815,193円

災害復旧費 229,810千円
(9,323円)



河川、道路、農業施設の災害復旧

土木費 765,102千円
(31,039円)



道路の新設改良、補修など

労働費 57,746千円
(2,343円)



出稼ぎ対策など

総務費 743,360千円
(30,157円)



戸籍住民基本台帳、財産管理など

公債費 590,218千円
(23,944円)



町が借りたお金の元金と利息

消防費 247,384千円
(10,036円)



消防、水防費など

農林水産業費 480,727千円
(19,502円)



農業、林業など

民生費 540,649千円
(21,933円)



身障者、老人福祉、児童福祉など

諸支出金 160,801千円
(6,523千円)



土地や立木の取得費

教育費 1,541,551千円
(62,700円)



学校の施設、社会教育、体育など

商工費 205,986千円
(8,356千円)



商工、観光、温泉など

衛生費 250,104千円
(10,146円)



各種検診、ゴミ処理費など

() 内は町民1人当たり

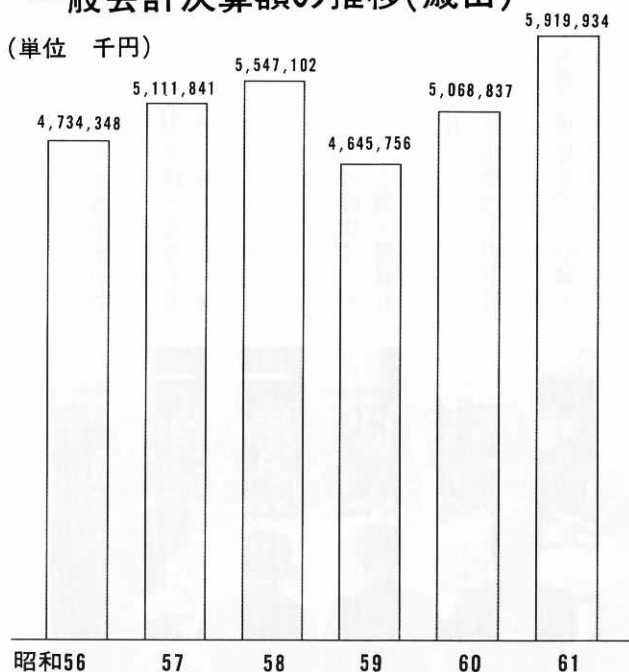
会計別決算総括表

(単位 千円)

会計区分	歳入総額	歳出総額	残 額
一般会計	6,119,261	5,919,934	199,327
国保会計	1,189,926	1,155,321	34,605
老人保健	1,172,506	1,166,142	6,364
簡易水道	106,971	102,071	4,900
と畜場	32,963	29,668	3,295
墓地公園	8,748	8,748	0
土地取得	44,781	44,781	0
宅地開発	44,958	26,788	18,170
綴子財産区	8,258	1,080	7,178
坊沢財産区	52,687	2,516	50,171
栄財産区	43,912	4,488	39,424
七日市財産区	41,926	4,892	37,034
七座財産区	15	15	0

一般会計決算額の推移(歳出)

(単位 千円)



町議会議員選挙

投票日は3月27日に決まる

出稼ぎ者は不在者投票を

三月三十一日で任期満了となる町議会議員の選挙は三月二十二日に告示、投票日は三月二十七日（日）と決まりました。町議会議員の選挙は私たちにとって、もっとも身近かで関心のある選挙です。

よりよい暮らしや明日の町づくりのために正しい一票を行使しましょう。

投票のできる人

町議会議員選挙の登録資格の基準日は三月二十一日です。基準日の三カ月前の十二月二十一日以前から当町に引き続き住んでいる方で、住民基本台帳に登録されている方および昭和四十三年三月二十八日以前に生まれた方です。なお、この選挙は町の議員を選ぶ選挙ですので、当町から転出した場合は、その日から選挙権がなくなります。

不在者投票の請求手続き等

不在者投票は、投票日に仕事や用事のため、投票所について投票できない人のために設けられているもので、次のような理由の人が不在者投票の該当となります。

▽一号理由Ⅱ出張旅行、研修

視察、住所地以外の地で作業に従事中の人（出稼ぎ）など。
▽二号理由Ⅱ冠婚葬祭、交通事故、受験等で町にいない人など。

▽三号理由Ⅱ不在者投票ができる病院に指定されているところに入院中の人など。

不在者投票のできる期間は選挙が告示された三月二十一日から投票日の前日の三月二十六日までです。

不在者投票を行う方は、町選挙管理委員会に対して、直接または郵便で請求（指定病院に入院中の方は、病院長に請求）してください。請求用紙は選挙管理委員会が準備しております。

不在者投票の請求は今からでもできますので、出稼ぎ等で遠く離れている方は、早めに請求するようおすすめします。

投票用紙は、告示日の二日前に請求者に郵送します。

町の選挙管理委員会から送られた不在者投票証明書在中の封筒を勝手に開封したり、選挙管理委員会に持参しない自宅等で投票用紙に記載すると無効になります。

投票用紙等が手元に届いたら直ちに最寄りの選挙管理委員会に持参し、係員の指示に従ってください。

ご存知ですか
郵便による投票制度

身体に重度の障害のある方も選挙権が行使できるように「郵便による不在者投票」制度があります。

■郵便による不在者投票ができる方は、身体障害者手帳または戦傷病者手帳の交付を受けている人で、次のとおり身体に重度の障害のある選挙人です。

▽身体障害者手帳交付Ⅱ両下肢もしくは体幹の障害で、一級・二級の方。心臓・腎臓もしくは呼吸器の障害で、一級から三級の方。

▽戦傷病者手帳交付Ⅱ両下肢もしくは体幹の障害で特別項症から第二項症まで。心臓・腎臓もしくは呼吸器の障害で特別項症から第三項症まで。

■郵便による不在者投票をすることが出来る人は、町選挙管理委員会から「郵便投票証明書」の交付を受けてください。申請手続きは、所定の様式による申請書に本人が署名して行うことになっています。なお、郵便投票証明書の有効期間は、交付の日から四カ年とされており、有効期間が満了する方は、早めに新規の証明書の交付手続きをしてください。

選挙についてのくわしいことは、選挙管理委員会にお問い合わせください。（☎六二一一―内線二九二）



児童手当制度のあらまし

2人目の子どもから支給されます

■児童手当とは

家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として支給される手当です。

■児童手当を受給できる人

児童手当法が改正されて六十三年度は第二子、第三子以降とも就学前の児童を養育し

ているものが対象となります。

すなわち、昭和五十七年四月二日以後（年度当初で六歳未満）の児童を含む二人以上の児童を養育している者が対象となります。

■児童手当の額

児童手当は、二番目の児童には月額二千五百円、三番目以降の児童には、一人につき月額五千円が義務教育就学まで支給されます。

■請求などの手続

六十三年四月から

新たに請求できる人は、昭和五十七年四月二日以降に生まれ

ている子どもを含み、二人以上養育している方が請求できます。

なお、現在昭和五十七年四月二日以降に生まれた子供を含み、現在児童手当を受けている方は、あらためて、請求する必要はありませんが、額

改定になる方は届出が必要となりますので注意してください。

■手続に必要なもの

印鑑、申請者名義の預金通帳、国民年金加入者の方は国民年金手帳、国保保険証、厚生年金等加入者は、年金手帳、社会保険証等を持参して請求手続にしてください。

なお、請求は家族又は代理の者でもかまいませんが持参するものは確認のうえおいでください。

■請求の受け付け

二月十五日から三月三十一日までおこないます。

なるべく三月三十一日までに受け付けるようにしてください。四月一日以降でも受け付けますが受給額が減るため注意してください。

児童手当のことについてわからないことや、お聞きになりたいことがありますたら、町民課福祉係へ（六六二一一一）内線一二七）



町長 日誌

出川 禮一

1月1日～15日

■1日(金) 今年の幕明けである。午前八時鷹巣郵便局で年賀状の配達出発式に出席し、主として高校生の臨時配達員を激励した。第七回の元旦マラソンは、雪の少ない街路コースを幼児、小中高生、一般と数百人が色とりどりに動く模様の大展開が繰り広げられた。

■2日(土) 太田児童館で栄地区新年祝賀会があり出席した。

より市街目抜き通りの行進と式典が三百十人の団員と二十人余りの署員、多数のご来賓参加のもと整然と行われ水、火より住民の生命財産の擁護を強調した。

■6日(水) 六十三年新春交流会は商工婦人部主催で三百人余りの参加で行われ新年を祝し、今年の町勢の発展と町民のご健勝とご繁栄を希い、盛会であった。

■3日(日) 竜森地区新春清談会、数十人の地元有志と地域的な要望意見の交換、町の今後の主要事業を説明し懇談、新春を祝った。

■4日(月) 仕事始め、年末年始の休暇も終り、今日から町役場での仕事が清新的気分ですタート。

交通指導隊員(町の非常勤特別職で二十五人)の新年観閲式は、今年の交通安全を一層高めることを力説した。消防出初式は恒例に

の総会及び祝賀会に出席。

■11日(月) 北鹿畜産基地事務所開き、北鹿二市四町地内の草地改良、畜産施設等の事業が農用地開発公団東北支社により実質的に六十三年度よりスタート(総額二十億円余り)その事務所が当町の旧鷹小校舎内に開設された。

■13日(水) 臨時町議会、町営スキー場のグレンデ整備雪上車の購入契約議決である。

足腰の強い農業経営をめざし



のか、農業で生きて行くにはどうすればよいかなど、活発な意見が交わされました。

あいさつの中で出川町長は「今は農業だけでなくすべての産業が厳しい局面を迎えている

ヤル気農業集団大いに語る!

町の中核農家で組織している鷹巣町自立農業振興会（会長岩本長右衛門）主催による「新春農業サミット」が一月六日、丸留旅館で開催されました。会議には会員や農業委員、農協組合長、土地改良区などから三十人が出席し、地域農業に活路を見い出そうとする真剣な姿が見られました。

大幅な転作強化、三十一年ぶりの米価引き下げ、農産物の自由化など農業をめぐる状況は非常に厳しいものとなっています。これに迫りうちをかけるように大潟村のヤミ米問題が不起訴となり、農家の心理は大きくゆらいでいます。稲作一本に頼ってきた当町の農業はどうなるのか、はたして食糧制度は堅持できる

る。農機具の過剰投資を極力おさえないといけない。農業はどうあるべきかではなく、どうすべきかだ。農協合併についても大担に取り組みたい」と述べました。

また各団体長より次のような現状報告がありました。

佐藤農業委員会々長代理「地域農業を考える時、後継者の結婚問題が大きい。相談員を設けているが、いまだに一組のカップルもみていない。二畝以上の耕作面積で二十五歳以上の適齢者は二百五人におよんでいる」

高橋栄農協組合長「三年続きの豊作から昨年は作況が伸びず、約一億円の減収となった。今後は米の消費拡大と良質米比率を一〇％から三〇％前後まで引き上げるようにしたい」

畠山沢口農協組合長「農家の一番負担になっているのが農機具だ。管内で農協を通してのが七千万円前後、業者の

ものを加えると一億三千万円となっており、今後はリースなど低コスト化を図りたい」

長谷川鷹巣土地改良区理事「複合経営のできる基盤作りを促進させたい。千葉県では一枚二・五〜七畝の区画で完全自動化し、米国農業に太刀打ちできる農業をめざしている所がある。当地ではマネのできないことだが大型農業に適応できる基盤作りを進める必要がある」

津谷北秋田農業共済組合参事「災害時の補償だけがクロージアアップされているが、未然防止も大きな仕事です。ヘリ防除、地上防除などのほかにスプレヤー、動力散布機に対する補助も行っている」

山内農林課長「町予算に占める農林関係の割合は十二・十五％です。転作を少しでも促進させるため重点拡大作物を振興し、一農協一億円の売上げを目標に種子代、箱代について年間六〜七百万円の助成をしております。この制度も六十三年度でひと区切りをつけ、今後は、暗きょ排水など基盤整備に目を向けたい」と述べました。

会員からは▽負債をかえながらも転作に協力している



これらの農業に基盤整備は不可欠（中田地内）

中で、大潟村の問題には怒りを感じる。▽専業農家より九十五％を占める兼業農家に目を向けないといけない。▽有機質、自然乾燥米にどう取りくむか。▽野菜は一定量がないと市場で通用しない。隣接町と連携をしても産地形成を▽農協合併は、すべて解決しないと合併できないのか、合併することにより解決する面が大きいのでないか。▽商社と同等に対応できる農協でないといと農家はみんな離れてしまう。

など、活発な提言がなされました。

おしらせ

町史(本編)を 発刊予約注文受付

古代から現代までの鷹巣町の生立ちを綴った「鷹巣町史」本編第一巻、第二巻が四月に発刊することになりました。

次により、予約注文を受付しますので、ご希望の方は申込みください。

▽予定価格第一巻、第二巻どちらも一冊二千五百円

▽予約締切二月末日

▽申込先 役場企画調整課企画調整係(六六一一一一内線三三二)

青年海外協力隊 員の募集説明会

国際協力事業団では、海外で活躍する青年を募集しております。

コースは海外移住研修生、海外開発青年、海外移住、青年海外協力隊、海外農業拓植研修生、国際子女研修センター訓練生などです。

この諸制度についての募集説明会を次の日程で行います。

▽日時 二月五日(金) 午後六時三十分～八時三十分
▽場所 みずほ苑(秋田市山王四二二一二)

問い合わせ先は「県企画調整部企画調整課国際交流担当」(一八八八六〇一九一二)

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程 二月一日・十五日

▽受付時間 午後一時から一時三十分(終了時間三時)

▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写など
▽持参品 印鑑
▽場所 中央公民館保健相談室

生き生き健康 教室の講演会

町では冬期成人病予防教室「生き生き健康教室」を六回コースで開催しております。第五回、第六回講演会は、次の日程で開催しますので多数ご参加ください。

■第五回講演会
▽日時 二月九日(火)

▽演題 肥満と糖尿病(大館市立総合病院・上原修先生)

■第六回講演会
▽日時 二月二十五日(木)

▽演題 若々しい血管をつくる食べ物(秋田自然食センター・小玉智子先生)

※いずれも時間は、午後一時から三時まで。場所は中央公民館ホールです。

農業技術のテレ ホンサービス

鷹巣農業改良普及所では、農業技術のテレホンサービス(六二二〇〇二九)を行っております。

二月の放送予定は次のとおりです。ご利用ください。
▽1日・5日 「あきたこまち」のつくり方
▽6日・15日 側条施肥田植について

製本してみませんか 「広報たかのす」を

「広報たかのす」一年分(六十二年一月から十二月まで)を五百円で製本します。希望者は二月二十九日まで毎月配付されている広報紙を、総務課広報秘書係までご持参ください。

夜間当番医(夜間診療)の日程表

(午後6時30分～9時)

2月	曜日	医療機関名
1	月	佐藤外科消化器科医院
2	火	藤原医院
3	水	佐々木産婦人科医院
4	木	鷹巣病院
5	金	盛岡外科医院
6	土	戸嶋医院
7	日	北秋中央病院
8	月	近藤医院
9	火	戸嶋産婦人科医院
10	水	奈良良医院
11	木	佐藤外科消化器科医院
12	金	北秋中央病院
13	土	佐々木産婦人科医院
14	日	藤原医院
15	月	盛岡外科医院

急患以外は受け付けません。

町・県民税申告相談日程表

月 日	申告会場	申告相談時間		受付時間
		午前9時～正午	午後1時～4時	
2/3(水)	栄農協会議室	掛 泥	高野尻 高野尻団地	午前8時～ 午後4時
2/4(木)	〃	摩 当	李 岱、岩 坂 下大沢	〃
2/5(金)	〃	太 田	田 沢	〃
2/6(土)	小田会館	松原・小田 子ヶ沢	〃	午前8時～ 正午
2/8(月)	南鷹巣会館	南鷹巣全区 西陣場岱	舟 場、高村岱 高森岱	午前8時～ 午後4時
2/9(火)	七日市基幹 集落センター	本郷1～3組 中 畑	本郷4～6組	〃
2/10(水)	〃	吉 野、妹尾館 品類、根木屋敷	岩 脇、横 潤	〃
2/12(金)	三ノ渡会館	明利又、上舟木 松 沢、黒 森	与助岱、三ノ渡	〃
2/13(土)	葛 黒 林 業 セ ン タ	大 畑、葛 黒	〃	午前8時～ 正午
2/15(月)	綴子基幹 集落センター	上 町	昭 和	午前8時～ 午後4時
2/16(火)	〃	下 町		〃

高齢者は物欲をすて 生活の安らぎを

高鷹大学の世代主張交流大会



高齢者の学習集団である高鷹大学では、世代間の相互理解と共同意識の高揚を図るため、一月十八日午前十時から中央公民館で「世代主張交流大会」を開催しました。

心のきずなの相互理解

「心の尊さ豊かさ」が問われていますが、最近「物が栄えて心が亡ぶ」という危機感に直面しており、発表される方がたも「心のきずな」を相互

理解の原点として、それぞれの立場から次のとおり主張されました。

▽二十代の青年「青年会活動は、「ふるさとキャンペーン」「町政を語る会」などさまざまなものであるが、多くのひとのふれあいを大切にしなければならぬ。

▽三十代の女性「子供たちの遊びや語らい、動作、表情などを観察しながら、家庭や地域とともに、健全な子育てを進めている。

▽四十代の女性「一人暮らしや在宅福祉の充実をめざしてボランティア活動を行っている

が、ボランティアは同情であつたり、思いあがつた気持であつてはいけない。責任をもてる範囲内で、無理のないように継続することが望ましい。何よりも家族の理解が大切である。

▽六十代の高鷹大学受講生「高齢者は物欲をすてて、想念界精神界へと、心の扉を開いて生活の安らぎを求めることが望ましい。心の世界こそ誠の人生だと思う。

▽六十代の男性「鷹巢の自然に引かれて東京から六年前に転入してきたが、一年後に妻を失ってしまった。心の悲しみから気を取り直そうと、茶道や絵画、ボランティア活動に積極的に参加。自らも励まされながら多くのひとびとのふれ合いを求め、知恵ある老人生活を目指している。

五人の主張は、心の充実を求めた貴重な体験発表となりました。とかく高齢者は健康であればよいという願いが強いが、日本古来の美しい風俗習慣を伝承するとともに、青年や壮年と交流を深めることが大切で、明るく住みよい家庭と地域づくりに努めなければなりません。（町公民館運営審議会委員長・北島景次記）

ふるさと人物伝

おがさわら また一ぞう
小笠原 又蔵

（二八五九—一九四四）

黒沢小学校は昭和四十六年、発足以来九十年の歴史を閉じて西小学校に統合した。黒沢は山の中の小さな集落だが裁判官、弁護士、著名な教育者が出るなど向学心の旺盛な所である。

学校は一年から六年まで約三十人を一人の先生が教える単級学校で、小笠原又蔵先生は、明治、大正、昭和と三十六年間勤めていた。その影響はまことに大きい。

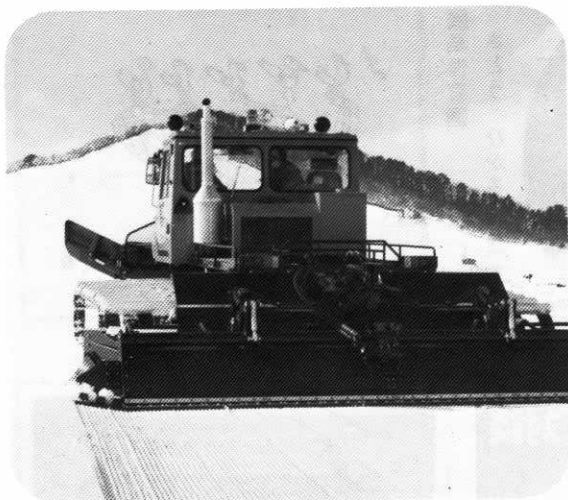


又蔵は、安政六年、前山の小笠原久太の弟として生れ、若い頃は院内銀山の鉱夫として働いたようであるが閉山となり郷里に帰り、七座小学校黒沢分教室の教員となったのは明治二十六年のことである。

「百姓に学問は要らぬ」という時代であったが、勉強家で教育に情熱的な彼の感化で、就学率、出席率が高まり何回も表彰される。

やがて、分教室から尋常小学校に昇格、初代校長となり、校舎新築をする。昭和五年、二代校長にバトンタッチ退職の時は七十一歳。教え子大川作五郎さん（八五歳）は「特別教授といつて放課後、一人一人がのこむまで教えてくれたことがありがたくて忘れられない。音楽、漢詩、何でもやり、姿勢の正しい人であった」と語る。後日、養家の伊藤の姓となり昭和十九年、八十五歳で没す。

資料（大川作五郎、小笠原一氏談、西小百年誌）
文責 長崎 久。



「ゲレンデ整備はまかせなさい」

1月20日、ゲレンデ整備雪上車が町営薬師山スキー場に到着しました。雪上車は2千7百20万円で購入した最新鋭の装備を兼ねそなえた機種で一時間に6畝の整備能力を持っています。試運転では軽いエンジン音を響かせ、見る見る間に圧雪し威力を見せつけました。スキーヤーの事故防止や各大会運営に大きな「助っ人」になりそうです。

第6回都道府県対抗女子駅伝大会が1月17日京都で行われ、当町から2区に前田朋恵（鷹高）3区中島ひとみ（南中）8区千葉美也子（鷹農）の三選手が力走を見せました。今大会は14位まで大会新をマークするハイレベルのレースとなり、本県チームは昨年の33位から39位に後退したものの三選手のがんばりに大きな拍手が送られました。

三人娘、京都路を走る



北風の中に歓声

第5回鷹巣地区雪っこ祭りが1月17日児童公園で開かれました。今年は暖冬の影響で毎年作られた雪像が見られなかったものの、参加した約80人の子供たちは的あてや綱引きに歓声をあげていました。その後、公民館ホールでクジ引きや餅つきが行われ、お母さんたちの作ったおしるこに舌鼓をうち、冬休み最後の日曜日を満喫しました。

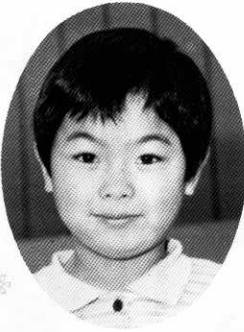


田沢地区水道事業開設記念祝賀会が1月18日栄生活改善センターで盛大に行われました。（総事業費1千57万円）田沢は戸数15戸でいまでも沢水や小川の湧水を利用しており、慢性的な水不足に悩まされ続けて来ました。簡易水道が長年の非願であっただけに主婦の顔には安どの表情。これで栄地区は全戸近代的な水道が完備されました。

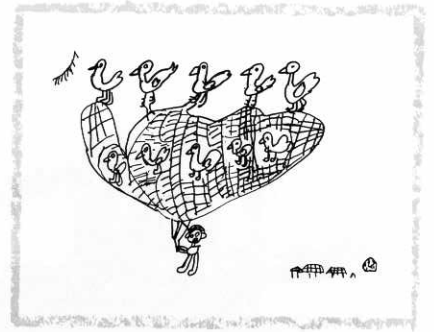
田沢簡易水道完成



の広場



鷹巣保育園
さとう ひかるくん(6歳)



私が煙草を吸い初めたのは二十代の後半からです。その頃は、煙草の害がそんなに叫ばれていなかったし、会議の席で煙草を吸うのが格好よいと思っていました。そのうち、年齢とともに体

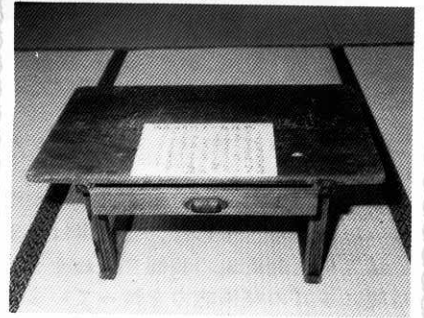


緑ヶ丘 長崎 久幸 (57)

体の調子が良い

今月のテーマ『私の禁煙』

対談 親の意見・子供の意見



内藤湖南博士の勉強机

(綴子小学校勤務中に利用)

明治18年から2年間綴子小学校に勤務され後、京都大学教授文学博士として、東洋史学の権威者でした。

この机で勉強すれば博士のように偉い人になれると、綴子の三沢さん宅で大事に保存している。

(松葉町・佐藤 富雄氏)

調を崩すことが多くなり煙草をやめようと思ひ、二カ月程禁煙しましたが、破れてしまいました。ところが、おかしなもので前よりも多くなり、今まで一日二箱位であったものが、三箱になり、宴会で酒を飲みながら吸うと、翌日体の調子の悪いことがはつきりわかるようになりまし。今度は一気にやめることを決意し、ある煙草をみんな他人にくれてやりました。時折吸いたくなってポケットを探



私がササニシキを全面積作付けした動機はまったく単純なことでした。アキヒカリ等も作付けしておりましたが、自分の技術的な要素もあり、目標に見合う収量をあげることが

私はこの度、北秋田地区産米改良協会主催による。一等米作りの対象者として選ばれ、優秀賞を受賞することができました。推せんして下さいました沢口農協に心からお礼を申し上げます。

一等米作りで優秀賞を受賞

小ヶ田 中 島 力 蔵 (41)

出来ませんでした。

以前より少しづつ、ササニシキを作付けしていましたが、当時の自主流通米奨励金の加算等を計算し、アキヒカリ等と比較した場合、ササニシキ十俵がアキヒカリ十二俵とほぼ同額になる計算でありました。

コスト面においても、肥料の削減や管理面においても楽でした。

私の場合、技術が本式でないものですから、その都度當農仲間頼らざるを得なかった訳です。

秋田米の消費拡大の点からも、良質米のササニシキ、あきたこまちの作付けが、私達米作り農家の本筋かと思ひます。

せめて、キヨニシキ以上の作付けを目安に技術の研磨される事を心から期待するものであります。

わたしの自慢



鷹巣保育園
たちばな えいこちゃん(6歳)



みんな



すこともありましたが、我慢し通しました。
体重も増えたがすぐもとどおりになりました。あれから六年、体の調子をよく禁煙してよかったと思っています。

厄払いを機会に禁煙



花園町
五代儀昭良(41)

たばこ屋の倅として育った私は、二十歳になるとやはり禁煙の誘惑に負けた。

格好良さと、仕事上も必要など自分に都合良く決めて、ついこの間まで吸っていた。マスコミで煙が体に悪いな

法報のじあり

ウーロン茶

緑茶、紅茶、ウーロン茶、

すべて同じお茶の木から作られますが、発酵のさせ方が異なるために、成分にもそれぞれ違いがでます。

ウーロン茶に際立って多いのは、整腸、解毒、殺菌作用を持つタンニン。体のPH(ペ

ど、騒がしくなつて以来時々休煙をしたが、四十二歳の厄払いを機会に禁煙を思い立ち、三カ月前から始めました。特別な事をしないで、気負わずに始めたのが良かったと思う。禁煙してからの体調は、殆ど差がなく、体重が少し増えたこと、痰が出なくなったこととです。それよりも、精神面上の充実感の方が体調を良くしているのかも知れません。しかし、この頃は禁煙禁煙と騒ぎ過ぎると思えます。人間の寿命は禁煙したから延びるわけでもないし、吸っていた人でも長生きしている人がいるわけです。要は、自分の健康は自分で守るということと、他人から言われてやるものではないと思います。

ーハー)を弱アルカリ性に保ち、疲労回復などに効果のあるアルカリ度も、緑茶、紅茶より高くなっています。

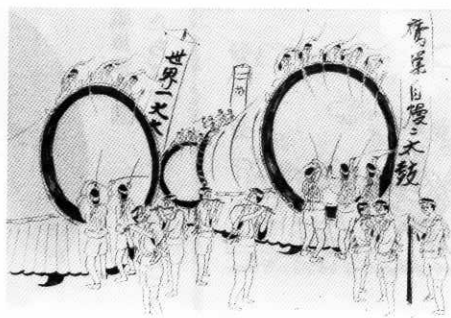
また、体内の脂肪を分解して洗い流したり、リパーゼという、すい臓から分泌される脂肪分解酵素の働きを抑制しない作用があり、そのあたりがコーヒー、紅茶と違う、健康飲料としての特徴として挙げられるようです。

昭和36年秋田国体旗リレーで、田中地内国道105号線を通しての写真で、国道の両側はほとんど田んぼが耕作されておる。現在、この付近は都市計画用途区域で、準工業地域に指定され、整備工場や、車の販売会社など多くの建物などが立ち並んでおる。



たかのすの昔

おうち



一線美術会運営委員 九島章二氏

二月の健康相談

二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十日と二十日です。

時間は午前十時から午後三時まで、血圧測定のほか尿検査、体重測定など行います。

また、慢性病予防教室では腰痛症について、腰痛体操などの実技を行います。

受付時間は午後一時。

リハビリ学級は十七日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時まで。
※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四カ月児健康診査は二十三日です。

対象は六十二年十月生まれのお子さんです。

小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。

受付時間は午後一時から午後一時三十分まで。

離乳食指導と七カ月児健康相談は二十三日です。

対象は六十二年七月生まれのお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

つごうで受診できない場合は次回に受診してください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

一歳六カ月児健康診査は十八日です。

対象は六十一年六月、七月生まれのお子さんです。

受付時間は、午後零時四十分から一時二十分まで。

フツ素イオンむし歯予防は十八日です。
対象は満三歳児以上のお子さんです。

受付時間は、午後一時三十分から三時まで。

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

老人の精神衛生 相談室を開設

鷹巣保健所では、老人性痴呆や疾患など、老人の精神衛生に関する相談室、一般健康相談室を開設しました。

医師、保健婦が直接相談に応じますのでご利用ください。

▽精神衛生相談 二月十日、二十四日（午後一時～二時三十分）

▽一般健康相談 二月二十五日（午前九時～十一時）

▽場所 鷹巣保健所

善意

▽ザ・エンド・オブ・ザ・イヤリー一九八七からコンサート収益金として一万二百円

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

香典返し

ご芳志に感謝いたします。このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽綴子下町 藤嶋茂男さんから亡父茂治さんの香典返し

▽中屋敷 近藤直夫さんから亡母トミさんの香典返し

▽住吉町 河田キサさんから亡夫与一郎さんの香典返し

▽今泉 松岡菊松さんから亡妻ミヤさんの香典返し

▽坊沢大町 津谷政蔵さんから亡母タケさんの香典返し

▽吉野 細田与七さんから亡長男秀雄さんの香典返し

慶弔だより

1月1日～1月15日

■誕生おめでとうございます

小野寺理騎（均） 二男（東横町）

水戸 健太（光雄） 長男（下町）

佐藤 純一（元範） 長男（小田）

農業委員選挙人名簿の縦覧期間は

二月二十三日～三月九日まで

おくやみ申しあげます

近藤 トミ（83歳） 中屋敷
佐藤 ミツノ（89歳） 大町
明石 サン（90歳） 前野
小笠原 与吉（56歳） 前山
細田 秀雄（35歳） 吉野
三澤 三治郎（40歳） 南田中
小塚 ワサ（84歳） 堂ヶ岱
出川 スエ（89歳） 糠沢
松岡 ミヤ（71歳） 今泉
大坂 秀吉（80歳） 吉野

佐々木 喬子（健） 長女（伊勢町）
佐藤 綾香（公夫） 長女（羽立）
森 佑介（秀樹） 長男（あは町）
佐藤 巨（力） 長男（湯ノ岱）
福田 翼（義尚） 二男（掛泥向）
■二人の前途を祝福いたします
長 宣男 伊勢町
鈴木 保子 合川町
吉田 寿 田代町
亀山 美紀子 田沢
高宮 秀樹 下町
伊藤 江利子 上阿仁村
藤嶋 勇人 松葉町
村岡 幹子 内幸町
佐藤 一博 葛黒
菊地 恵子 二ツ井町